

会津望郷歌

作詞・作曲 新田 晃也
編曲 丸山 雅仁

峠こえればヨ一 遥かに見える
里は夕暮れ 灯りがともる
会津磐梯山は 宝の山よ
母の背中の 温もりが
肌に沁み込む 子守唄

嫁に行くのかヨ一 幼馴染のあい娘
初恋の想いを 残したままに
東山から 日にちの便り
祈る幸わせ 届いてか
季節変われば 里帰り
里の灯りがヨ一 ゆらゆら揺れて
酒が夕飯に ひと華咲かす
会津磐梯山は お化粧がながい
酔いに浮かれた 嗚れ声
年期入りだね 親爺節

故里よ

作詞・作曲 新田 晃也
編曲 佐伯 亮

頑固まるごと 背中に担って
小言着に 飲んでるだろか
親父深酒 応える年令に
御身いとえよ 無理するな
無沙汰無沙汰で 便りも出さず
詫びる思いの 故里よ

家督をまもって 生真面目抱え
ひとり黙まり 稼いでいるか
弱音吐かずに 頑張る兄貴
俺の励みに しているぞ
酔えば酔うほど 無口が喋る
恋し故里 しび酒

元気盛りに 優しさ強さ
愛情け温もり 山ほどくれた
土産ばなしを 待つお袋よ
気をもむ姿 目に浮ぶ
巡り巡って 芽の吹く頃は
帰る思いの 故里よ